

新中核病院情報

■問合せ先／企画課 ☎58-5111・75-3111、内線1272

■現在の取組状況

◆地域医療再生計画事業の延長について

両市の合意に基づき、茨城県が国に期限延長を申請していましたが、12月26日付で承認されました。

◆桜川市議会での検討状況

1月24日、桜川市議会臨時会において、新中核病院建設に係る筑西市への負担金900万円と、『県西総合病院存続に関する決議』が出席議員の全会一致で可決されました。

■今後の取組について

現在推進している新中核病院の整備に向けた取り組みは、桜川市および筑西市の地域の医療を取り巻く現状や将来を見据えた、持続可能な医療提供体制の確保を実現するためのものです。

新中核病院整備や県西総合病院の運営については、地域全体での医療提供のあり方、病院経営、医師招聘、市の財政負担、市民の代表である桜川市議会の意向を踏まえなが

ら、筑西市、茨城県と再生交付金の活用可能性も含め協議していくこととなります。

【参考】地域医療の現状

表1、表2から分かるように、医師数の減少に伴い、受け入れられる外来・入院患者も減少しています。患者数の減少は医療収益の減収につながり、経営を圧迫することになります。また、医師や医療従事者の減少は、診療体制にも大きく影響し、医師をはじめ医療従事者の負担増になるという悪循環に陥る可能性もあります。

全国的な問題として、医師数が減少した原因は諸説ありますが、一般的には研修医制度改革に端を発した特定の地域や病院への偏在、医療の高度化・専門化などであると言われています。また、医師数の減少により医師をはじめとした医療従事者の負担増も医療者の要因となっているようです。

近年は、休日や夜間の安易

な受診による医師や医療従事者の負担増、さらには救急車利用の約4割(筑西広域管内)が軽症患者であり、限られた医療資源の中、真に医療を必要とする患者が受けられなくなるという問題などもあり、患者側の意識改革も求められています。

表2 県西総合病院医療従事者の状況

項目 年度	総数	医師	医 技 術 員	看 護 師	準 看 護 師	事 務 職 員	その他
H19	298	23	39	140	17	46	33
H20	287	20	38	139	15	46	29
H21	249	19	35	116	16	35	28
H22	247	18	34	119	13	36	27
H23	251	20	36	120	10	37	28
H24	245	18	38	117	9	35	28

表1 県西総合病院診療実績の推移

項目 年度	許 可 病 床 数	稼 働 病 床 数	入院患者数 (1日平均)	外来患者数 (日平均)	病床利用率(%)	
					許可病床	稼働病床
H18	303	283	205.0	421.6	67.7	72.4
H19	303	264	162.6	389.3	53.7	61.6
H20	303	192	121.7	343.2	40.2	63.4
H21	299	167	129.2	342.2	43.2	77.4
H22	299	167	127.8	331.7	42.7	76.5
H23	299	167	123.1	322.5	41.2	73.7
H24	299	167	121.4	317.6	40.6	72.7

桜川市高齢者見守りネットワーク事業 新たに17事業所と協定締結

平成25年12月10日、岩瀬中央公民館で、桜川市高齢者見守りネットワーク事業調印式および事業報告会が開催され、新たに協力が得られた17の介護関係事業所と協定を締結しました。

今後関係機関・協力事業所の皆様と協力し、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。

■年間活動状況の報告

年間の活動状況は、協力事業所などから、新聞がたまっている・家の鍵が閉まっているなど高齢者の異変に関する

情報提供が7件あり、市で速やかに訪問や連絡・調整を行い安否確認に努めました。また、警察署から行方不明者の早期発見への協力依頼があり、市から協力事業所に情報提供をしました。

夏の猛暑時には、熱中症予防について啓発活動などを行いました。

また、桜川市認知症介護アドバイザー会の皆様による認知症の方への理解や正しい接し方について、寸劇を交えた研修を行いました。

■高齢者見守りネットワーク事業所ステッカーの作成
協力事業所の皆様には、事業所の出入口

や社用車などに貼付して活用していただくようお願いしました。



■問合せ先／介護長寿課 高齢福祉グループ・地域包括支援センター ☎0296-7513158直通 ☎58-5111・75-3111(代表)



新たに協定を交わした事業所の皆様